

科目責任者 廣瀬 誠

■教育目的

薬剤師は、医療の供給における経済的な側面を理解し、医療費の適正化と効率的な運用に貢献することが求められる。このため、社会保障制度と医療保険制度のしくみ、医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを学ぶ。あわせて、4年次の「薬学と社会Ⅰ」で学んだ薬事関連法規・制度のその後の改正点や要点についても学習する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤】

■学習到達目標

1. 社会保障制度と医療保険・介護保険制度のしくみを理解する。
2. 医療費の構成、薬物治療の経済評価手法などを理解する。
3. 薬事関連法規・法規の改訂点等について確認する。

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書、参考書、配布プリントの該当部分に目を通しておく（30分以上）。

復習：講義内容を復習するとともに、関連事項について自分で調べてみる（30分以上）。

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	社会保障制度と医療保険制度	社会保障制度のしくみ、医療保険制度の成り立ちと役割、医療保険の種類と現状	C18 (2) -1-1 C18 (2) -1-2 C18 (2) -2-1 C18 (2) -2-3 C18 (2) -2-4
2～3	保険医療のしくみ	保険医療機関、保険薬局、保険医、保険薬剤師、保険給付、医療費の請求	C18 (2) -2-2 C18 (2) -3-2
4～5	診療報酬・調剤報酬と薬剤師	診療報酬・調剤報酬・介護報酬と薬剤師の業務の関わり・かかりつけ薬局・薬剤師	C18 (2) -3-3
6	高齢者医療保険と介護保険	高齢者医療保険制度、介護保険制度、地域包括ケアシステム	C18 (2) -1-3 C18 (2) -1-4
7	医療費の内容と動向	国民医療費の動向、医療費の内訳	C18 (2) -3-1 C18 (2) -3-4
8～9	薬価制度	薬価制度、薬価算定のしくみ、新薬の価格を決定する要因、後発医薬品の薬価	C18 (2) -3-3 C17 (1) -2-2
10～12	薬剤経済学	費用対効果、抗がん剤の解析事例、医療政策への応用	C18 (2) -3-5 C18 (2) -3-6
13～14	薬剤師を取り巻く法律と制度	薬事関連法規・制度における最近の改正事項、薬事関連法規・制度の要点の整理	C18 (1) -2 C18 (1) -3
15	総括		

■授業分担者

菅野 敦之 (No.1～6)、赤沢 学 (No.7～12)、廣瀬 誠 (No.13～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明を行う。

期末試験（100％）で評価を行う。

■教科書

『薬事法規・制度及び倫理 解説』 薬事衛生研究会 編（薬事日報社）
（4年次の「薬学と社会Ⅰ」履修の際に購入したもので可）

■参考書

『薬事衛生六法 学生版』（薬事日報社）
『スタンダード薬学シリーズⅡ 薬学総論 Ⅱ. 薬学と社会』日本薬学会 編（東京化学同人）
『薬事法規・制度・倫理マニュアル 改訂14版』亀井美和子ら 編（南山堂）

■その他

生命創薬科学科4年生（選択科目）との合同授業